

【別紙】令和3年度 とっとり SDGs アワードの審査結果

○ファーストステップ (小中学生対象)

<グランプリ 1名>

受賞者名	タイトル	提案内容	審査会での講評
森田 笑 さん (もりた にこ) (稲葉山小学校 6年)	海のプラスチックゴミを使ったアクセサリ作り	海からプラスチックゴミを拾い、型に刻んだプラスチックを入れてアイロンで溶かし、アクセサリにする。	<ul style="list-style-type: none"> 多くの参加者が清掃活動やワークショップで楽しみながら SDGs を知るきっかけとなる良い取組。 地域の団体と連携して、既に具体的な取組が始まっており、更なる地域との連携など、今後の活動に大きな期待ができる。

<準グランプリ 1名>

受賞者名	タイトル	提案内容	審査会での講評
岡 美月 さん (おか みづき) (福米中学校 3年)	心をつなぐリユースの輪	不要となった部活用品、学用品を集めるスペースを校内に作り、必要とする生徒にリユースする。	<ul style="list-style-type: none"> 自主的に SDGs に取り組むグループをつくって活動するなど課題意識は高く、様々な目線で考察されており、行動も見え、実現可能性を感じられる。 教育の格差を中学生の視点から考察しており興味深い。

<入賞 3名>

受賞者名	タイトル	提案内容	審査会での講評
小川 怜 さん (おがわ れん) (住吉小学校 5年)	プラプラ歩いてプラゴミ回収サンダル	静電気により歩くだけでプラスチックゴミを回収できるサンダルの発明。	<ul style="list-style-type: none"> 静電気を利用したサンダルでゴミ回収を行うという発想が斬新であり、具体的にこれを誰にどう活用してもらっていかかも考えられていて、わかりやすい。 完成したサンダルの効果も期待したい。
富盛 世菜 さん (とみもり せな) (成徳小学校 6年)	家の物のできるエコ植物～とてもかんたん～	水は残り水、肥料は生ごみを発酵させたものを使用するなどしてエコに植物を育生し、更にCO ₂ 削減につなげる。	<ul style="list-style-type: none"> 身近なものに目を向け、家庭ごみの多くを占める生ごみ削減に努力するなど、実現も可能であり、有意義な活動になりそうである。 SDGs について自由研究で調査したり、日頃から環境意識を持った取組を行うなど、SDGs への意識の高さがうかがえる。
松田 祥歩 さん (まつだ さちほ) (青翔開智中学校 2年)	捨てられてしまう食べ物目線の絵本「あおばのじんせい」	賞味期限が切れる等して捨てられてしまう食べ物を主人公とした絵本を製作し、食品ロスの問題を子どもたちに伝える。	<ul style="list-style-type: none"> 伝えたいことを絵本にすることで、子どもにも理解しやすい。読んだ子どもたちが将来にわたり実践することが期待できる。 日々の何気ない気づきの中からスタートしており、個人の小さな努力が積み重なり SDGs につながることを実感した。

○セカンドステップ (若者対象)

<グランプリ 1グループ>

受賞グループ名	タイトル	提案内容	審査会での講評
Frontier School (フロンティアスクール) (鳥取大学生・岡山大学生等によるグループ)	閉校舎に秘密基地を創ろう!~若者が理想とする魅力的な学び舎を考えよう~	旧安部小学校(八頭町)の校舎を活用した大学生が主導する理想の「学び場(キャンパス)」づくり。	<ul style="list-style-type: none"> SDGsの視点に基づいた地域づくりプランで、全ての計画が綿密になされ、実現性、波及効果とも高い。 既にプロジェクトが始動しており、成果が期待される。短期的な効果だけでなく、子どもたちの活動を通じた成長にも期待したい。

<準グランプリ 1グループ>

受賞グループ名	タイトル	提案内容	審査会での講評
つながるころろプロジェクト (青翔開智高校生グループ)	つながるころろ	将来子育てに携わる高校生と先輩ママパパと一緒に出産や子育てのことを話す場作りをする。	<ul style="list-style-type: none"> 子育て中の方だけでなく、高校生も交えての将来に向けて広がりのある事業の組み立てが、SDGsの理念に沿っている。 子育て王国における課題を把握し、地域と連携した取組で、来年以降の計画も提案されており、実現性、継続性も高い。

<入賞 3グループ>

受賞グループ名	タイトル	提案内容	審査会での講評
チーム倉西 (倉吉西高校生グループ)	倉吉グリーンカーテンプロジェクト!	グリーンカーテンを作り学校の省エネ化を図る、活動は小中学生、地域住民と協力して実施する。	<ul style="list-style-type: none"> 計画が具体的で、誰でも手軽に取り組み、効果も大きく、ギネス記録を目標とする市民全体への動機づけが良い。 市内を範囲とし、活動内容も取り組みやすく、毎年継続できる。
地元愛好家 (日野高校生グループ)	安心する町づくり	少子高齢化が進む鳥取県を安心できる町にするため、顔見知りとなるきっかけづくりのイベントを開催する。	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者も交えたeスポーツなど地域コミュニケーションの具体的な計画が示され実践的であり、高校生との交流は、高齢者にとって良い影響が期待できる。 高齢化が進む日野郡で、地域の協力者を得ることで継続的に取り組まれることを期待する。
aoharu (アオハル) (倉吉東高校生グループ)	粋湧(わくわく)	ジェンダー意識改革やアピールのため、和服をリメイクした性別にとらわれないファッションショーを開催する。	<ul style="list-style-type: none"> 目の付け所は面白く、計画が具体的で、既に事業者との関係もできており、実現性が高い。 ジェンダー平等を意識した、今までにない新しい和服のリメイクに着目した点に新規性を感じる。